

～初のアメリカで～

七飯中学校 2年 前川 直

私は海外派遣の一員に選ばれて、私にとっての未知の世界、アメリカに行けるとい
うワクワクした気持ちと、言葉の通じない場所でやっていけるのかという不安とでい
っぱいでした。でも、私の中では不安よりも、「早く行ってホストファミリーに会いた
い！！」という気持ちが強くありました。

13 時間が思っていたよりも長く、ボストンに着いたときは、疲れもあり、「外国に
来た！！」という実感がありませんでした。少し狭いけれどかわいいスクールバスに
乗り、ふと気付けば日本と走っている道路が反対で、そこで初めて「ここは日本じゃ
ないんだ」と思いました。



高校に着いて、バンドルー
ムでホストファミリーと対
面しました。高校から家ま
での車の中で、Rose やホ
ストファザー、マザーが
話しかけてくれましたが、
私は上手く受け答えが
できなくて、これから
大丈夫かな？と心配で
した。

でも家に着き、元気な犬“Liam”が出迎えてくれたので私も元気になる
ました。すぐ部屋に案内されました。そこで私はふと、明日は何時に起きれば
いいのだろう？と思ったので聞こうとしました。でも、どんな英文を作れば
いいのかもわからなくて、知っている単語をとにかく言いました。そしたら
Rose がメモ帳と鉛筆を取り出して、時間を教えてくれて、目覚まし時計も貸
してくれました。こんな感じでも、伝えようと思えばちゃんと伝わるのだな
あーと思いました。夜中に起きることもなく、ぐっすり眠れて、日本を出
発したのがだいぶ前に感じる、長い1日が終わりました。

次の日から学校へ行きました。家から学校まで車で40分くらいなので、ス
クールバスで通います。7時10分前くらいなのに外はまだ暗くて思っていた
以上に寒くてびっくりしました。Rose と一緒に授業に出たけれど、何を言
っているのかよくわからなくて、すごく眠くなりました。1度にたくさんの生
徒が廊下を歩いているので、一緒にいた Rose とはぐれてしまいそうでした。
他にも日本とは違うところがありました。黒板ではなく、コンピュータを使
ったハイテクな授業だったり、授業中に立ち歩いている生徒や食べ物
を食べている生徒がいて、すごく free だなと思いました。

私は吹奏楽をやっているのです、お昼休みの時間にジャズバンドの練習
を見に行きました。バンドに入っている人はお昼休みがなく、練習時間に
サンドウィッチや、りんごを食べながら楽器を吹いていました。高校で
見た色々な風景は日本では考えられな



いことばかりで、驚きが多い1日でした。

学校の宿題はとても多くて、Rose は家に帰ってから1時間くらいは勉強していました。その間私は、お父さんと一緒にトランプをしていました。一見怖そうなお父さんですが、優しく接してくれて、アーチェリーを教えてくれたり、英語が全然わからない私に、ポケットから翻訳機をだして日本語で話してくれたりしました。本当に良いお父さんです。お母さんは、いつも私のことを考えてくれました。Rose は私より年上ということもあって、お姉ちゃんみた

いな感じに思えました。食後にはみんなでゲームをしたり、歌を歌ったり、とても仲のいい家族で、その中に私を温かく受け入れてくれたことが嬉しかったです。Rose とお父さんはよくジョークを言っていました。最初は何を言っているのかわからなかったけど、だんだんわかってきて楽しかったです。私は最後の夜に、日本から持って行きたいかめしと、おにぎりとおみそ汁をつくりました。電子レンジの使い方を聞くのも一苦労でしたが、今までのお礼と、日本食を食べてもらいたいという気持ちを込めてつくりました。私にはみそは落ち着く匂いで、懐かしく感じましたが、Rose たちの口には合わなかったみたいで、水をたくさん飲みながら食べていました。でも、はしを使って最後まで食べてくれたのでよかったです。

私がコンコードの人に会って「Thank you」という感謝の言葉、「Good morning」や「Good bye」などのあいさつは、大人でも子どもでも、女性も男性も相手に対して素直に言っているなあと感じました。ごはんを作ってくれてありがと



う。ドアを開けてくれてありがと。言った方は爽やかで、言われた方も気持ちがいいなと感じました。どこの国でもあいさつがしっかりできれば、コミュニケーションもとっていくことができるのだなと感じました。Rose に「Good morning what do you say Japanese?」などと色々な単語の日本語を聞かれて、私が答えると、一生懸命覚えてくれて、日本語を使ってくれました。その中でも「ありがとう」「どういたしまして」「おはようございます」「おやすみなさい」をよく使ってくれて、嬉しかったです。

今、私がいる場所は日本で、言葉も日本語です。伝えようという気持ちで相手に話せば、必ず伝わる。そのことを忘れずに、これから過ごしていこうと思います。

貴重な体験をさせてくださった方々、本当にありがとうございました！！